

2014(平成26)年12月

総合科学技術・イノベーション会議
第1回 基本計画専門調査会

参考資料8-2

産業競争力懇談会(COCN) 第5期科学技術基本計画の論点

産業競争力懇談会(COCN)

実行委員長 住川雅晴

(株式会社日立製作所 顧問)

第5期科学技術基本計画の論点

論点1： イノベーション創出の環境と基盤にかかわる政策

(1-1) 事業モデルの革新

(1-2) 技術と市場の見える人材の育成

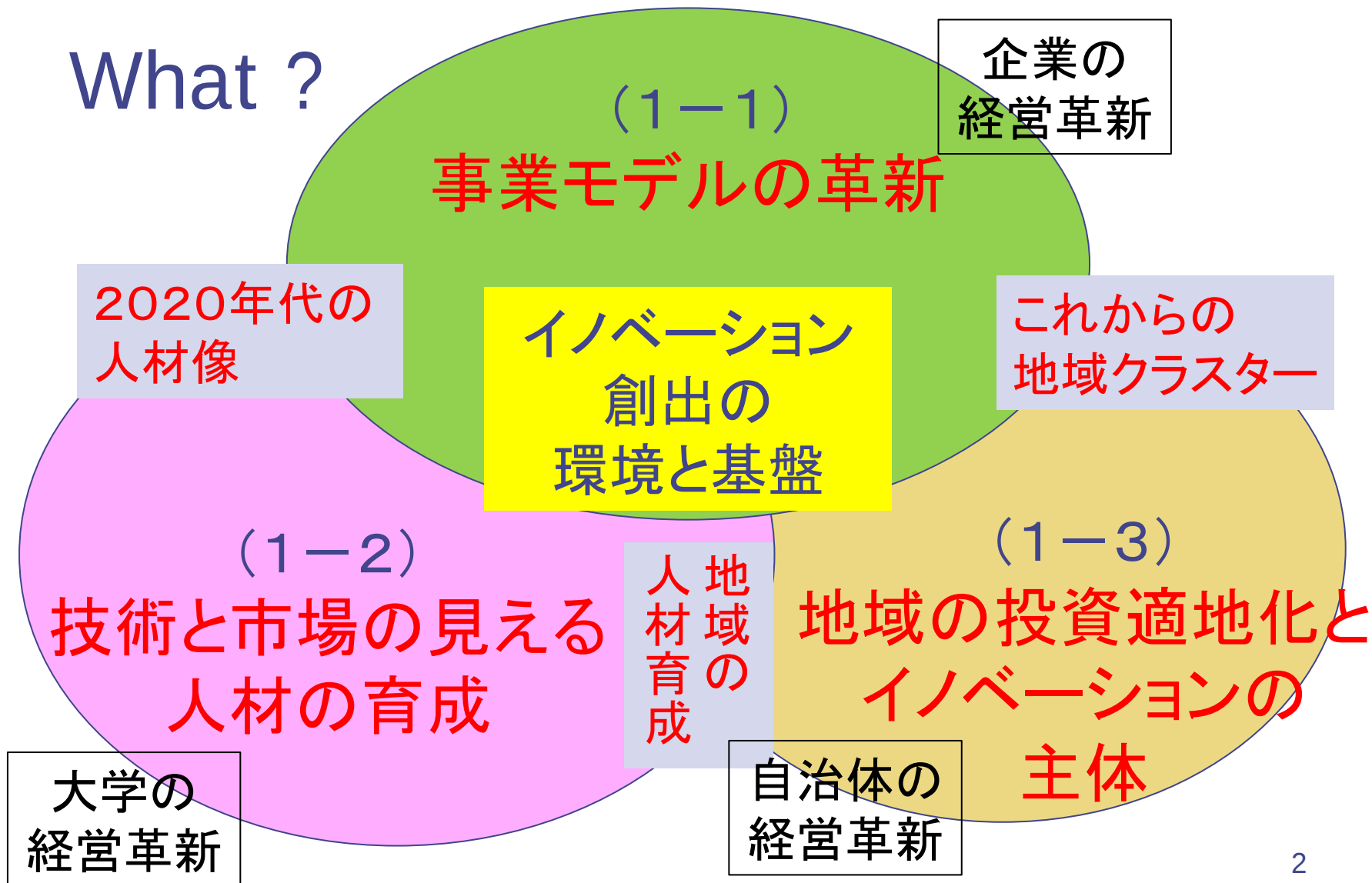
(1-3) 地域の投資適地化とイノベーションの主体

論点2： イノベーション政策の司令塔、その実効性の強化

論点3： 出口志向、橋渡しと学術研究

この論点に基づいて今年度内に提言書の公開を予定

What ?



第5期科学技術基本計画の論点

論点2: イノベーション政策の司令塔

その実効性の強化

How ?

- ・司令塔強化は、その端緒に立ったばかり
- ・総合科学技術・イノベーション会議のもとに政策を一元化
- ・公的投資(GDP1%の科学技術、高等教育への目標)

論点3: 出口志向、橋渡しと学術研究

- ・学術研究や橋渡しの重要性は産業界も強く認識
- ・課題は、資源配分のバランスと透明性
(目標設定、ロードマップ、第三者評価の公表)

How ?

第5期科学技術基本計画の論点

論点1. イノベーション創出の 環境と基盤にかかわる政策



産業界にとっての**イノベーション**とは、、、

社会や人々の課題を解決することにより、
新たな市場や事業が生まれ、収益が上がり、
結果として経済成長や雇用の拡大が実現すること

学術的に画期的な原理の発見は重要な必要条件であるが
事業化や産業化を通して、イノベーションの創出に貢献

第5期科学技術基本計画の論点

論点1. イノベーション創出の環境と基盤にかかわる政策

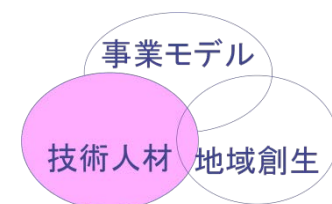


(1-1) 事業モデルの革新

- ・コア技術の深化・進化に取り組み、周辺技術をオープンな環境で取り込みスピードアップ
- ・ICTは社会の基盤。商品やサービスの価値を創出し、ビジネスモデルを変革するツール。
- ・バックカスティング的な社会課題解決テーマの設定
大規模な実装プロジェクトへのチャレンジ
- ・異分野・異業種連携のオープンイノベーションの環境づくり

第5期科学技術基本計画の論点

論点1. イノベーション創出の環境と基盤にかかわる政策



(1-2) 技術と市場の見える人材の育成

- ・産業界が求める人材、特に技術人材に変化
自ら課題を設定・解決する力、基礎基盤的な知識に加え
 - ＋ 広義のシステムエンジニアリング(構想力、設計力)
 - ＋ 多様性から価値を作り出すプロデューサー能力
 - ＋ 数学や統計学を駆使したデータの分析力
 - ＋ 人文社会科学の素養とコミュニケーション力 など
- ・初等中等教育からの基礎訓練
- ・大学の機能別再編
- ・人材の多様性と流動性(雇用・処遇制度の改革)

第5期科学技術基本計画の論点

論点1. イノベーション創出の環境と基盤にかかわる政策



(1－3) 地域の投資適地化とイノベーションの主体

- ・超少子高齢化への対応、雇用の安定、女性の活躍による
地域創生の成否は我が国の将来の姿。
- ・地域の特徴を活かした国際比較で遜色のない投資適地化
地域の経営主体(首長)のビジョンと実行力が決定的に重要
研究開発税制、特別償却、技術実装特区、規制の撤廃等
- ・ビジョンに沿った大企業と中小企業、ベンチャーの協業
- ・地域の大学の再編、地域コア技術と人材育成への特化
- ・地域社会の課題解決や第1次・第3次産業の生産性向上に
つながる第2次産業の知恵

第5期科学技術基本計画の論点

論点2. イノベーション政策の司令塔、 その実効性の強化

- ・まずは、SIP、ImPACT の継続・強化と理念の実現
- ・国の資源配分の全容を総合科学技術・イノベーション会議（CSTI）が把握し、健康医療、IT、宇宙、原子力等を含めた政策の俯瞰と統合、資源配分の枠作りは最低限の条件。
- ・縦横マトリクスの調整や内閣府の体制強化にとどまらず、イノベーション庁の創設までを視野に入れる。
- ・科学技術・イノベーション政策への公的投資はGDPの1%、高等教育への投資目標、評価やPDCAのあり方も明記。⁸

第5期科学技術基本計画の論点

論点3. 出口志向・橋渡しと学術研究

- ・社会の課題解決の実績による**国民の理解と支持**は必須。
- ・アカデミア・研究機関・産業界による実用化研究への橋渡し
出口目標の具体化、バックキャスティング課題設定、ロードマップ
- ・産業界も、**基礎的、学術的研究の重要性**を強く認識。
一方で、**出口は基礎研究、学術研究にも必要**。
国費である以上、「課題設定」「マイルストーン」
「客観的な成果評価」の3点の**透明性が資源配分的前提**。